

2026 年 8 月 26 日

報道関係各位

三菱地所株式会社

みのりわ

農と食のビジネス・産業支援施設「MINORIWA」 大手町ゲートビルディングに開業

～農や食のプレイヤーが集い、共創が生まれる「めぐるめくコミュニティ」の活動拠点が誕生～

三菱地所株式会社は、「[大手町ゲートビルディング](#)」の2階から4階に、農と食のビジネス・産業支援施設「MINORIWA」を2026年8月31日に開業いたします。

MINORIWAは、社会を豊かにする食を生み出すことを目的とする「めぐるめくプロジェクト」における会員制コミュニティ「[めぐるめくコミュニティ](#)」の活動拠点として、生産・加工者から卸・小売・飲食店事業者まで、農と食に関わる様々な方が集い、交流・共創・発信する場を目指す施設です。めぐるめくコミュニティ会員の交流や共創のきっかけを生み出すハブとなるラウンジのほか、施設内にはコミュニティ会員以外も利用可能な本格仕様の厨房設備や、イベント・カンファレンススペースを設けます。試作や試食会といった商品化前の取り組みや、食の発信イベント、新商品発表会、期間限定レストランなど、農と食の垣根を超えた新しいアイデアの創出から実現・発信までを後押しします。

さらに4階にはサービスオフィスを設け、農と食に関わる多種多様な企業の集積と成長を促進します。入居工事不要な家具付き個室オフィスや充実した共用部を備え、様々な働き方やビジネスシーンに対応します。2階には株式会社 haccoba によるクラフトサケ (Craft Sake) の醸造所「[haccoba 内神田醸造所](#)」を2026年9月に開業いたします。

【MINORIWA の特徴】

①めぐるめくコミュニティ活動拠点

農と食に関わる多様な関係者が集う会員制のめぐるめくコミュニティに入会した、各地域の農と食に関わるプレイヤーが交わるハブとなる活動拠点

②レンタルスペース

キッチン・厨房設備を兼ね備え、試作品の製造や本格的な調理が可能なスペースや、約30名～約150名規模のイベント・カンファレンスに対応可能な複数の多目的スペースを利用可能

③サービスオフィス

家具付き個室オフィスに加え、ラウンジ・会議室・フロンツースなどの共用スペースが利用可能。コンシェルジュ機能、Wi-Fi や光熱費、清掃費などが賃料に含まれたオールインクルーシブ仕様

④haccoba 内神田醸造所

日本酒の新ジャンル「クラフトサケ」の製造、めぐるめくプロジェクトの共創により生まれた商品や取り組みを紹介するラボ・ショールーム機能、日本の食文化や酒造りの発信などを展開予定



▲2階ラウンジ・交流スペース



▲3階キッチン付きレンタルスペース



▲4階サービスオフィス(イメージ)

三菱地所は、今後も MINORIWA の施設運営およびめぐるめくコミュニティの活動を通じて、農産業および食産業に関する新たな価値創造を支援し、農と食がめぐる持続可能なエコシステムの構築に向け挑戦を続けてまいります。

■MINORIWA 施設概要

概 要：農と食のビジネス・産業支援施設

運 営：三菱地所株式会社

フロア詳細：2 階 haccoba 内神田醸造所

2 階～3 階 会員専用のラウンジ・交流スペース、

キッチン・厨房付きレンタルスペース、イベント・カンファレンススペース

4 階 サービスオフィス

MINORIWA



■めぐるめくプロジェクトとめぐるめくコミュニティの活動について

「めぐるめくプロジェクト」は、農業・水産業・畜産業を担う地域の生産者や加工者と、都市で暮らす生活者が相互に理解を深め、交流し合うことで、豊かな食や社会をつくる活動です。2022 年に活動を開始し、これまでに 27 の地域で、生産者・加工者、自治体などが参加するフィールドツアー、ピッチ交流会を実施、プレイヤー同士のネットワーク構築に取り組んできました。

2026 年 2 月には、そうした人と人とのつながりから共創を生み出す循環型エコシステム形成を企図した会員制組織「めぐるめくコミュニティ」を立ち上げました。農と食のビジネス・産業支援施設「MINORIWA」は同コミュニティの活動拠点でもあります。ハードの整備に先駆け、ソフトの取り組みを展開していたソフト先行型のまちづくり事例となります。

めぐるめくコミュニティでは、年間を通して以下のプログラムを開催していく予定です。

- ・ 「食卓会議」：領域を超えた学びとつながりを作るフィールドツアー・交流会
- ・ 「ハタウチカイ」：領域の垣根を超えて共創を生み出す双方向の公開ディスカッション
- ・ 「GOOD COMPANY TABLE」：豊かな社会づくりを志す仲間が集う会食

【めぐるめくプロジェクト公開イベント「めぐるめく日本の食卓会議 2026」】

めぐるめくプロジェクトは、2026 年 9 月 29 日(火)～30 日(水)の 2 日間、プロジェクト活動を公開し、食農産業と地域にポジティブインパクトを創出する「めぐるめく日本の食卓会議 2026」を開催します。これまで 2023 年の愛知県豊橋市、2024 年の福岡県福岡市、2025 年の東京都日比谷での開催を経て、4 回目の開催となる今回は MINORIWA を会場として、開業を記念した開催となります。なお、本イベントはめぐるめくコミュニティ会員以外の方もご参加いただけます。

<開催概要>

開催日程：2026 年 9 月 29 日(火)～30 日(水)

開催場所：大手町ゲートビル 2～3 階 MINORIWA

主 催：三菱地所株式会社 / めぐるめくプロジェクト

公式サイト：<https://megourmake.studio.site/openday/2026>



▲「めぐるめく日本の食卓会議 2025」開催の様子

■（ご参考）まちまるごとワークプレイス構想について

三菱地所は、エリア全体をプラットフォームと捉え、テナント個社単独では実現しにくい取り組みをエリア全体で提供する「まちまるごとワークプレイス構想」のもと、オフィス機能のみならず多彩な飲食・交流機能をエリア全体で提供しています。MINORIWA は、農と食を起点としたコミュニティ形成や交流・共創を促進する新たな拠点として、丸の内エリアのワークプレイス機能をさらに拡充していきます。

<丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想>

丸の内エリアの特性の一つは、135年以上にわたるまちづくりを通じてお客様や様々なステークホルダーと共に築き上げてきた「利便性と集積」です。

その特性を踏まえ、テナント企業が自社オフィスだけでは実現できないことや、個社単独の取り組みでは実現しにくいことを「まちまるごと」でサポート、エリア全体がプラットフォームとして機能することで、働き方の質や効率を高めます。



▲ まちまるごとワークプレイスのイメージ

始動リリース： https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/05/22_mec250q522_machi

以 上